

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋女子大学

2024年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針及び飼養保管基準に基づき、機関内規程及び組織体制図が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
2024 年度から、環境省「実験動物取扱いの実態に関する調査」において機関内規程への明記を求められている項目（動物実験の 3R の基本原則、動物実験結果の把握と改善措置、実験動物管理者の責務）について動物実験規程の条文に追加予定。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
機関内規程に基づき、動物実験委員会が設置され、基本指針に則した委員構成が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験各種様式

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 基本方針に基づき、機関内規程に動物実験の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、それに従い各種様式も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。名古屋女子大学 動物実験規程にその旨明記している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 名古屋女子大学 動物実験規程に基づき、飼養保管施設等の設置が承認され、飼養保管体制が定められている。また、飼養保管マニュアル及び緊急時対応マニュアルが定められ、飼養保管の体制が適切に整備されている。飼養保管マニュアルについては、継続的に見直しを行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
名古屋女子大学 動物実験規程、名古屋女子大学 動物実験委員会規程、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
動物実験委員会は、名古屋女子大学 動物実験規程及び名古屋女子大学 動物実験委員会規程に定められた役割を適正に遂行しており、議事録も保管されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験計画申請書、動物実験審査結果答申書、動物実験審査結果判定書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、動物実験終了・中止報告書、動物実験結果報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
機関内規程に基づき、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。2023年度には7件の計画が承認実施されたが、動物実験結果報告書及び自己点検票は、すべて提出済みである。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料 安全管理に注意を要する動物実験は実施していない。事故等の発生はなく、向精神薬は適切に届出され、使用されている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当しない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設における実験動物の飼養保管は、名古屋女子大学 動物実験規程及び各種マニュアルに基づき、実験動物管理者のもとで適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 2023 年度から、動物実験室の増設によりマウスとラットが交差する可能性が出てきたため、動物実験計画の承認後、動物実験責任者が「動物実験室使用予定」を事務局総務課へ提出し、提出された「動物実験室使用予定」を実験動物管理者が確認の上、使用スケジュールが重複する場合は各責任者へ連絡し、各自で調整を行うこととした。また、2023 年度から、「実験動物飼養保管マニュアル」について、使用後の床敷（糞尿）や残った飼料は業者指定の容器に入れて「専用フリーザー」で保管する方法に変更することとした。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 名古屋女子大学 動物実験規程、飼養保管マニュアル、緊急時対応マニュアル、動物実験の自己点検票、実験動物飼養保管状況の自己点検票、入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>機関内の施設等は、適正な維持管理が実施されている。入退室については、総務課受付で鍵管理台帳を作成し、毎回確認の上貸し出している。飼育室の環境条件の記録台帳（入退室記録簿、飼育記録簿、飼育環境記録簿）も適正に維持管理されている。また、委員会による定期的な視察を年 1 回実施している。地震等の災害対策については、継続的に対応を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>2021 年度外部検証にて「地震等の災害対策へ向けた継続的な対応を期待する」との意見が付されたことについては、2024 年度に向け飼養保管施設内の器具・棚等固定について継続的に対応する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験教育訓練実施記録、動物実験教育訓練配布資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>基本方針に即した教育訓練が実施されている。実験動物管理者、実験実施者、飼養者の別に応じた教育訓練として、実験動物管理者は、日本実験動物学会による「実験動物管理者等研修会」を受講している。動物実験実施者（教員）に対しては、eAPRIN「動物実験コース」の受講を義務化しているほか、定期的にも実施される外部講師を迎えての教育訓練への参加を求めている。飼養者（学生）に対しては、『解剖生理学実験』の授業内で教育訓練を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>日本実験動物学会による「実験動物管理者等研修会」は、動物実験委員会委員のうち未受講者についてはオンデマンド配信等を利用し、継続的に受講を進めていく。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験に関する自己点検・評価報告書、名古屋女子大学ホームページ</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページで必要な情報を公開している。2021 年度外部検証報告書の大学ホームページ公開により、求められている全項目の情報公開を行った。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当しない。